

京の老舗  
舞5丁目



長品19店が  
ソクなどの  
のアクセサ  
ーツなどが  
作を演し  
のり、来場  
を聞きなが

ら熱心に品定めしていた。祇園東の舞妓(まいこ)2人による踊りの披露もあり、会場は立ち見が出るほどの盛況ぶり。初めて見たという松山市道後中学校2年の栗木絵万さん(13)は「オーラがあり、踊りも話し方もとてもきれいだった」と喜んでいった。20日も3回踊る予定。

(亀井咲希)

### 中小企業診断の 人材育成で連携

愛媛大と協会が協定

中小企業の経営やその診断に関する知識を持つ人材を育てようと、愛媛大社会学部は19日、県中小企業診断

士協会と連携協力する協定を結んだ。2020年度に授業科目として開講する準備を進める。

松山市文京町の同大で調印式があり、仁科弘重副学長(社会連携推進機構長)ら3人が、人材育成を通じて愛媛の中小企業の発展、地域活性化に貢献することを確認した。18、19年度はセミナーなどを実施、その後は協会による提供講座を想定。学生に中小企業診断士の社会的意義を伝え、就職に向けて実践的な知識や広い視野を養ってもらう。

上田保会長は「中小企業の生の声を聞いて日々活動している。大企業ベースの理論ではなく、生きた事例を基にした研究を深めても

らえると思う」と協定の意義を説明。社会共創学部部長の西村勝志は「地域をけん引できる人材育成が学部の使命。地元企業の置かれている状況を把握し、特色や強みを生かすことを学ぶ授業に期待したい」と抱負を述べた。

(高橋舞)



連携協力協定を結び手を重ねる県中小企業診断士協会と愛媛大社会学部連携推進機構、社会共創学部の代表者  
19日、松山市文京町